

スナック横丁、全国1,400店舗以上のネットワークを活用したマーケティング支援「スナックマーケティング」本格展開

全国のスナックが生活者の“本音”を企業へ。商品体験から市場調査、商品開発、サンプリング、PRまで一括支援

日本独自のスナック文化を現代的に再解釈し、全国のスナックと連携した事業を展開する「スナック横丁」（運営：オンラインスナック横丁文化株式会社、代表取締役：五十嵐真由子）は、全国1,400店舗以上のスナックおよびママ・マスターとのネットワークを活用した、企業・自治体向けマーケティング支援サービス「スナックマーケティング」を本格展開します。

「スナックマーケティング」は、スナック横丁が培ってきたママ・マスターとの関係性を、商品体験、サンプリング、市場調査、商品開発、PRなどに活用する新たなマーケティング支援です。スナックという地域に根ざしたコミュニティの中で、ママやマスターを介して商品を実際に体験してもらうことで、アンケートだけでは見えにくい生活者の率直な反応や、会話の中から生まれる本音を収集。さらに、スナック店舗での体験に加え、スナフェスなどのイベント会場においても、来場者やママ・マスターが接客するお客様に向けたアンケート調査をスマートフォンで実施。リアルな商品体験や会話から生まれた反応をデジタルで回収し、集計・分析・レポート化まで対応します。

「スナックマーケティング」サービス詳細・お問い合わせ

<https://www.snackyokocho.com/company/services/marketing/>



なぜ今、スナックがマーケティングの場になるのか

全国各地のスナックは、地域に根付き、ママやマスターと来店客との信頼関係によって成り立つ、生活者に近いコミュニティです。店内では、商品を試した際にも「どちらの味が好きか」「どのような場面で使いたいのか」「いくらなら買いたいのか」といった率直な意見が、普段の会話の延長で自然に生まれます。また、信頼されるママやマスターが商品の特徴や楽しみ方を伝えることで、来店客が自然に商品を手に取り、体験し、その場で感想を話しやすい空気が生まれることも特徴です。近年、企業からスナック横丁に対し、「商品を実際に試してもらい、本音を聞きたい」「アンケートだけでは見えにくい生活者の反応を知りたい」「商品開発やプロモーションに、スナックのママや利用者の声を取り入れたい」といった相談が増えています。常連客が多いスナックでは、初回の反応だけでなく、その後の感想や再購入意向など、時間を置いた変化も確認できます。スナック横丁ではこれまで、食品、菓子、飲料、酒類、健康食品をはじめ、観光や地域活性化など、さまざまな領域で市場調査や商品体験、プロモーションを支援してきました。こうした需要の高まりを受け、これまでの支援内容を「スナックマーケティング」として体系化しました。

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL : 03-6820-0210 pr@snackyokocho.com

「スナックマーケティング」が選ばれる3つの理由

① 全国1,400店舗以上のスナック・ママネットワークを、企業のマーケティング資産に

スナック横丁は、全国1,400店舗以上のスナックおよびママ・マスターとのネットワークを有しています。地域や店舗数だけでなく、来店客の年代、性別、職業、立地、客層、店舗の雰囲気などを踏まえ、「どのような生活者に届けたいか」に合わせて実施店舗を選定できることが強みです。特定地域での調査から、複数地域を横断した比較調査まで対応可能です。単なる店舗リストではなく、ママ・マスターとの関係性を持つスナック横丁だからこそ、企業の商品やサービスに合った“届け方”まで設計します。



② ママ・マスターの会話力で、アンケートだけでは見えない本音を引き出す

スナックのママやマスターは、来店客の緊張をほぐし、自然な会話を生み出す存在です。商品を実際に体験してもらったうえで、「どんなときに使いたいか」「誰にすすめたいか」といった問いかけを、普段の会話の延長で行うことで、生活者の率直な声を引き出します。



一人の感想をきっかけに会話が広がることで、味や使い方、購入したい場面、価格感、改善点など、設定した調査項目だけでは捉えにくい反応も見えてきます。また、ママ・マスターと来店客との継続的な関係性により、その場の感想にとどまらず、後日の反応や再購入意向など、時間を置いた変化も確認しやすい点が強みです。

③ 商品体験から調査、商品開発、PRまで一括して支援

本サービスでは、企業や自治体の目的に応じて、サンプリング、試飲・試食、アンケート、インタビュー、店頭販促、商品開発リサーチ、実証実験、ブランド体験施策などを組み合わせて提供します。支援企業へのヒアリングをもとに、目的やターゲット、実施地域、店舗数、KPIを整理し、店舗の選定・手配、ママ・マスターへの説明、施策実施、コメント回収、レポート作成までを一括して担当します。また、スナック店舗での実施に加え、スナック横丁が企画・運営するイベント会場での試食・体験調査にも対応しています。スマートフォンアンケートを活用することで、会話から生まれる定性的な反応と、回答データとして取得できる生活者の声を組み合わせて可視化。商品を配布して終わるのではなく、集計・分析・レポート作成まで行い、次の商品開発や販促、PRへつなげるマーケティング支援として展開していきます。



市場調査から商品開発、サンプリング、PRまで幅広く対応

「スナックマーケティング」は、企業や自治体の目的に応じて、以下の5つのメニューを組み合わせ提供します。

① サンプリング

スナックの店内で商品配布や試飲・試食を行い、その場で商品を体験できる機会をつくります。ママやマスターによる紹介を通じて、自然な会話と反応につなげます。

② マーケティングリサーチ

ママ・マスターや来店客を対象に、アンケートやインタビューを実施します。数値で傾向を捉える定量調査に加え、会話の中から生まれる率直な感想や意見を収集する定性調査にも対応します。

③ 店頭販促

POPやポスター、卓上ツール、リーフレットなどを店内に設置し、来店客が自然な形で商品やサービスに触れる機会をつくります。

④ 商品開発・実証実験

新商品や試作品を体験してもらい、味や組み合わせ、価格、パッケージ、ネーミング、利用シーンなどを検証します。商品化前の評価や発売後の反応調査にも対応します。

⑤ ブランド体験施策

企業や商品の世界観とスナック文化を掛け合わせ、試飲会、PRイベント、体験型キャンペーンなどを企画します。

これまでの主な実施事例

事例① | 健康食品メーカーの商品サンプリング

目的：スナックの来店客に商品を実際に試してもらい、商品への反応や購入意向を確認することを目的に実施しました。

実施内容：全国10店舗のスナックで商品サンプリングを行い、店内にPOP・ポスターを掲出しました。ママやマスターから来店客へ商品を紹介し、実際に試してもらう機会をつくりました。

支援内容：店舗選定、各店舗との調整、商品・販促物の手配、実施確認、コメント回収、レポート提出までを、スナック横丁が一括して担当しました。



事例② | 米菓メーカーとの商品開発

目的：スナックのママ・マスターの声を生かし、お酒に合う新たなおつまみの商品開発を行うことを目的に実施しました。

実施内容：1エリアあたり15店舗から30店舗のスナックで、試食アンケートや人気投票を実施しました。ママ・マスターから味や組み合わせに対する評価を集めるとともに、商品名やパッケージに掲載するコメントについても意見を収集し、商品開発に反映しました。

成果：調査結果をもとに、人気の高かった組み合わせが「ママのイチオシ」として商品化されました。



事例③ | 米菓メーカーのイベント来場者向けペアリングアンケート調査

目的：イベント来場者に米菓商品を実際に体験してもらい、年代・性別・好きなお酒などの属性情報とあわせて、商品への反応やお酒との相性、購入意向につながる嗜好を把握することを目的に実施しました。

実施内容：2026年4月～6月に開催したスナックフェス「YOKOCHO WONDERLAND in TOKYO」にて、イベント来場者を対象に、スマートフォンを活用した「スナックペアリングアンケート」を実施しました。

年代、性別、好きなお酒、好きなスナック菓子、お酒に合うと思う商品などを回答してもらい、来場者の嗜好や商品との相性を調査しました。

支援内容：アンケート設計、会場内での回答導線の整備、スマートフォンによる回答回収、回答データの集計・分析、レポート作成までを、スナック横丁が一括して担当しました。



このほか、食品・菓子、飲料・酒類、健康食品、化粧品・日用品、自治体・観光、アプリ・Webサービスなど、幅広い分野のマーケティング課題に応じて、企画から実施まで支援しています。

「スナックマーケティング」サービス詳細・お問い合わせ

<https://www.snackyokocho.com/company/services/marketing/>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL : 03-6820-0210 pr@snackyokocho.com

オンラインスナック横丁文化株式会社 代表 五十嵐真由子からのメッセージ

私はこれまで“スナ女®”として全国1,400軒以上のスナックを訪ね歩く中で、スナックという場所が単なる飲食店ではなく、人と人の本音が自然に交わされる、生活者にとっても近いコミュニティであることを実感してきました。カウンター越しの会話や、ママ・マスターとの信頼関係の中で生まれる言葉には、通常のアンケートだけでは拾いきれない率直な感想や気づきがあります。

今回本格展開するマーケティング支援は、そうしたスナックならではの“会話の力”を、企業や自治体の商品開発、調査、プロモーションに生かす取り組みです。商品を届けるだけでなく、生活者がどう感じ、どんな言葉で語り、どのような場面で使いたいと思うのか。そのリアルな反応を、ママやマスターとともに丁寧に拾い上げていきたいと考えています。

スナック文化が持つ温かさや人との距離の近さを、これからのマーケティングや地域活性にもつなげていくことで、企業・自治体と生活者をつなぐ新たな接点を広げていければ嬉しく思います。



オンラインスナック横丁文化株式会社代表取締役 五十嵐真由子

様々な企業とコラボ！スナック業界を盛り上げるエンタメ集団「スナック横丁」とは

全国1,400軒以上のスナックを訪れた“スナ女®”五十嵐真由子が代表を務めるオンラインスナック横丁文化株式会社は、日本独自のスナック文化を現代的に再解釈し、地域や企業と連携して新たな価値と交流を生むサービスや企画を展開しています。

2020年の創業以来、全国のスナックと連携した観光向けツアーや企業研修、地域イベントのプロデュース、文化体験プログラム、マーケティング調査、商品開発、プロモーションなどを実施してきました。店舗やイベントにとどまらず、企業のオフィスにおける社内交流のきっかけづくりや、自治体と連携した交流人口・関係人口の創出など、人と人をつなぐスナック文化の価値を生かした取り組みを幅広く展開しています。また、「スナ女」「オンラインスナック」「オフィススナック」「スナフェス」「スナックフェスティバル」「スナックツアー」など、スナック文化に関する複数のブランド名称について商標登録を取得し、各事業や企画の展開に活用しています。

公式HP：<https://snackyokocho.com/>

スナックメディア「スナックへいらっしやい」：<https://www.snackyokocho.com/>

Instagram：<https://www.instagram.com/snackyokocho/>

TikTok：https://www.tiktok.com/@snackyokocho_japan

Facebook：<https://www.facebook.com/onlinesnackyokocho/>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL：03-6820-0210 pr@snackyokocho.com